

パッケージコア

海外連携の再強化で提案幅を広げる

パッケージコアは、長年取引のある海外容器メーカーとの連携強化を図り、海外のトレンドを踏まえた提案を強化する。

木下光生会長は、「コ



木下会長

「いただいた」と述べ、さらなる品質の向上に向けて、海外渡航を再開して技術指導や教育を行う考えた。

「昨年、国際展示会などを通じて新たなパートナー企業の開拓も進めていきたい」(木下会長)

近年、相談や問い合わせが増えている環境配慮型への対応では、品揃えを強化し、提案の幅を広げる。直近では、竹(Bambboo)や石灰石(LIME EX)などエコ素材を用いた容器シリーズの販売を開始したほか、リフィル対応容器などラインナップの拡充を図っている。「環境への取り組みは、企業の大小を問わず推進していかねばならない。新製品の提案だけでなく、既存の容器も環境の観点から見直し、顧客への提案につなげていきたいと考えている」(木下会長)

ロナ禍で生活習慣や働き方などが大きく変わり、化粧行為や化粧品の購買行動も変化した。コロナからの回復を見極めるには、大手の動きに注視する必要がある」と話す。

日本国内の海外製容器の評価については、「近

年は海外製容器も品質が向上してきたため、採用する企業が増えてきている。もともと機能性やデザイン性に優れた容器が多かった。興味を持って

「昨年、円安などの影響を受けたものの、今年は不安定ながら円高基調にある。また、世界的に

「昨年、円安などの影響を受けたものの、今年は不安定ながら円高基調にある。また、世界的に

特集

容器・パッケージ